

目的

日本：少子高齢化社会に直面する
→今後、高齢者の医療需要が増大する

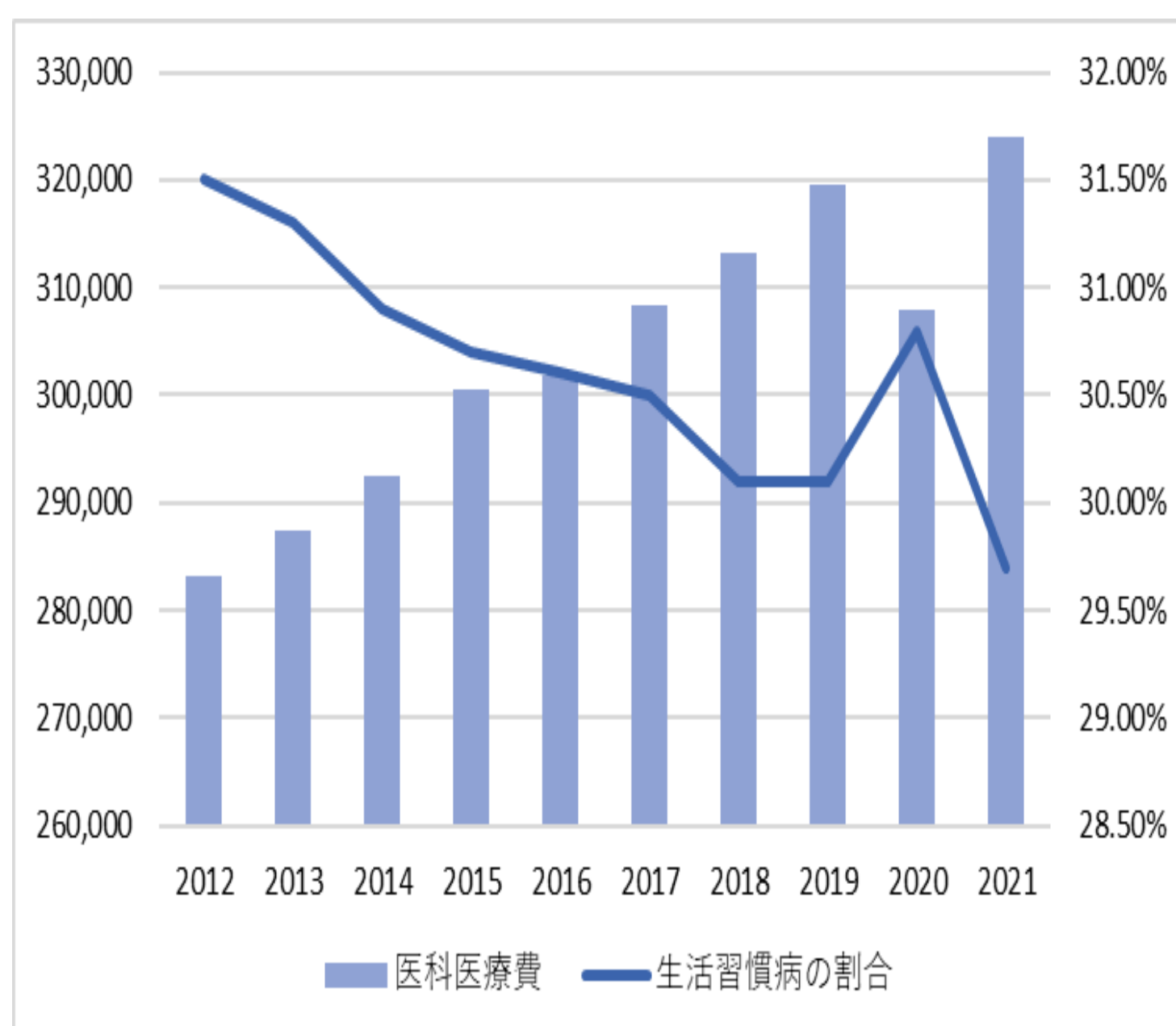
医療費の増加が予測される

→生活習慣病に罹患する人々が増加する

健康にとって最も大きな
リスク要因

➡生活習慣病の予防により、
医療費の抑制を図ることが重要

医療費と生活習慣病の割合



出典：厚生労働省国民医療費（2012～2021年分）

方法

- ・厚生労働省国民医療費（2012～2021年分）
- ・平成30年度健診、保健指導カルテ
- ・全国国民健康保険診療施設設備議会の医療費と特定健診受診状況を参考

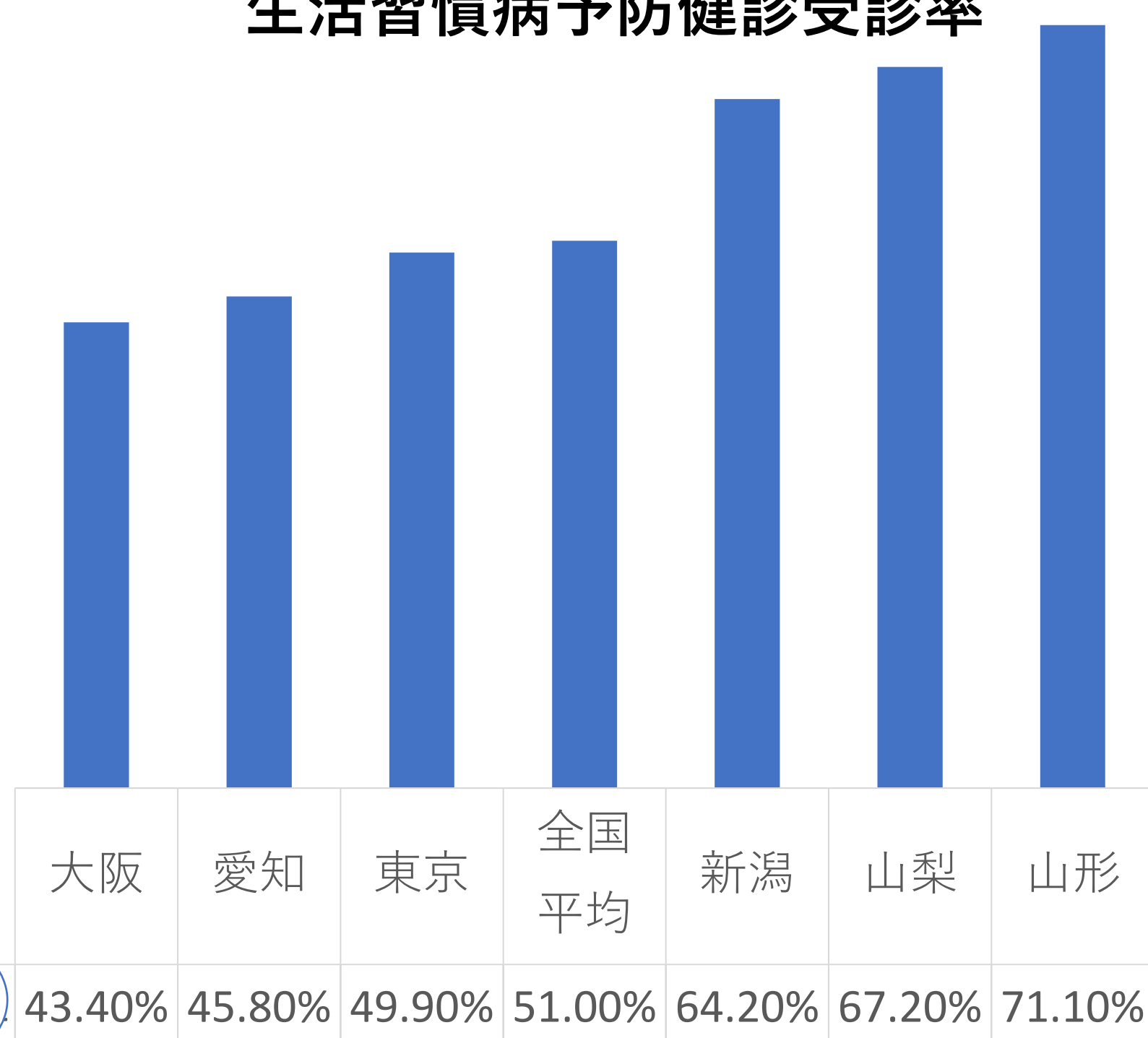
結果

医療費と特定健診受診状況より
未受診者は、
外来4,942円、入院57,286円高い

～受診しない理由～

- ①必要な時に病院や診療所を受診できる（31.7%）
- ②時間がとれなかった（29.2%）

生活習慣病予防健診受診率



出典：平成30年度健診、保健指導カルテ

生活習慣病の医療費は約3割

全国平均 51%
都市部に低い傾向

考察

生活習慣病は、日頃の食事、運動習慣、禁煙、禁酒などの積み重ねが大事

健康管理アプリ「sun health」を無償で国民全員に導入を義務付けを提案する

- ①自動で歩数などの運動習慣を計測
- ②食事や喫煙などの健康に関する質問に答える
- ③1か月後にAIが判断する
- ④結果を元に問題がある患者はかかりつけ医に予約がとれる

→短期間ごとのデータを収集により、生活習慣病を減らすことにつながる

結語

アプリ導入し義務化することで、患者の健康維持の手助けを行いたい
診療情報管理士として、生活習慣病の患者のデータをアプリ、
システムの運用に携わり、アプリ義務化に貢献したい